

2011年5月25日

プロジェクト報告書

【締切:プロジェクト終了後1か月以内。もしくは 2012年4月30日】

団体名 特定非営利活動法人 マイハート・インターナショナル

▼報告書の扱い、および記入にあたっての注意点

この報告書(精算報告書以外)は、ホームページなどで公開する予定ですので、広く読まれることを想定してご記入ください。また、編集段階で、表記・表現等を事務局で編集する場合がありますので、あらかじめご了承ください。語尾の表現は「です・ます」調をお願いします。報告書に掲載するための活動の内容がよくわかる写真(2枚程度。写真の肖像権問題がないものの提出をお願い致します)を添付して下さい。

1. プロジェクト名

第22回福祉 MY HEART 美術展

2. プロジェクトの目的とその背景 300文字まで

※応募申請書に記載のもので可。

知的・心的・心身に障害をもつ人たちの美術作品展覧会。

近年、心身に障害をもつ人たちの美術作品(絵画や陶芸、紙・木・布等を素材とした手工芸品、造形品など)が、「生の芸術」(アール・ブリュット)分野として注目され、評価されるようになってきつつあります。さらにその可能性を追求し、広げていくことが今日的な課題です。

3. プロジェクトの内容 300文字まで

※当初予定と変更がない場合は、応募申請書に記載のもので可。

会期 2010年12月15日～24日 会場 青梅市立美術館市民ギャラリー 観覧者 440人

出展 日本 13団体3個人から出展者45人の作品 41点、

中国 5団体から出展者9人の作品 11点、

フランス 3団体から出展者34人の作品 33点、

後援団体 青梅市、東京都、日本ユニコム協会連盟他6団体、助成団体 毎日新聞、読売新聞、産経新聞、各社事業団、日知会館、真如苑他5団体、協賛企業 22社、賛助者 63人、

4. プロジェクト実施にあたっての工夫点とその効果 300文字まで

1986年の第1回展以来、24年間の活動を通じて、フランス、中国との国際交流展を経験。その経験と専門係において、第22回展はフランスと中国に出展を依頼したところ、快く応じて頂くことができた。その結果、「福祉MY HEART美術展」としては、初の2回展で日本、中国、フランス3か国の作品交流展を開催。3か国の障害児者の心の共通性、表現技法の相異、社会的・文化的な背景や情勢の特殊性が、作品を通じて理解がしやすくなり、また、国際交流展の意義も認識されやすかったのではないかと、思われました。

5. 全体的所感、終了しての感想など 300文字まで

折角の日本、中国、フランス3か国の障害児者の作品交流展でしたが、フランスや年末の開催期間だったため、観覧者数が当初見込みの3分の1程度という結果で、大変残念に思われました。しかし、逆に考えれば、その中荒しい中、それで見たいと思つて本心で見に来た人たちが、これほど多くいたのだと思うと、大きな力であり、次の展望と、さらなる精進の力へとつながるに思われました。

6. 参考資料

支援対象プロジェクトで作成したチラシ、パンフレットやマスコミで紹介された記事等は現物またはコピー、活動風景の写真を参考資料として提供してください。

参考資料あり・特になし

マスター、案内状、作品集、報告書、既に届いて済みです。

